

M O N T H L Y

vol.50

U P

印刷物のちょっと折り入った話。



人も印刷物も、 「折り目」正しくが基本です。



片袖^{じゅぼら}、蛇腹、観音…。何のことだか分かりますか？

これは、印刷物の「折り」のこと。デザインや発色はもちろん、印刷物はその折り方ひとつで、さまざまに表情を変化させるのです。

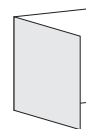
一般的に「ペラ」と呼ばれる、1枚の紙からなる印刷物。使用目的にあった「折り」を加えることで、機能性や表現力をアップさせることができます。たとえば、A2サイズの大判チラシを4ツ折りにして新聞に折り込む。圧着式DMをZ折りにすることで、隠しておきたいスペースを大きく取るなど。このマンスリーアップで言えば、2ツ折りにすることで持ちやすく、読みやすい構成になっています。

冒頭でご紹介した「折り」について説明すると、片袖折りは用紙を2つに折って、片側を折り返したものです。蛇腹折りは、用紙を交互に折り返していく折り方です。そして、左右の折り返し部分が中央から両側へ開くのが観音折り。これは、観音開きという言葉から、比較的馴染みのある名前ではないでしょうか。とはいえ、ここでの名称は全国統一のものではありません。前述の蛇腹折りの場合、別名経文折りやアコーディオン折りとも呼ばれます。また観音折りを内巻き3ツ折りと呼ぶ地域もあり、場所や会社によってその呼称は変わるようです。

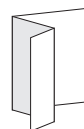
折り加工を行う際、気をつけなければいけないことに「紙の目」があります。紙の目とは、紙を構成する繊維の流れのこと。原紙の長辺に対して繊維の流れが平行であれば「縦目」、直角であれば「横目」の紙ということになります。「縦目」か「横目」か、一見ただけでは分かりにくいのですが、簡単に識別する方法があります。それは紙を裂くこと。真っすぐに裂ければ、その方向に繊維が流れているということになります。折り加工を行う時は、この紙の流れ目

に沿うことで、きれいな折り目を付けることができます。反対に、流れ目と直角に折ってしまうと、折り目が割れやシワの発生などの原因になってしまいます。特に厚い紙は折り目を付けづらいことから、紙の目に合わせるだけでなく、スジ押し加工も考慮しなければなりません。印刷時には、折り目のことも計算して、紙の選定をする必要があります。

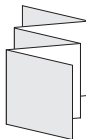
◆二つ折り



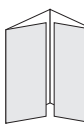
◆片袖折り



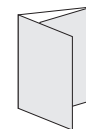
◆蛇腹折り



◆観音折り



◆巻き三つ折り



◆四つ折り



いかに効率良く訴求するか、いかに分かりやすく伝えるか。それは常に印刷物制作の担当者を悩ませるテーマです。しかし、折りを有効に活かすことで、おもしろい視覚効果を生み出すことができます。今回ご紹介した折り以外にも、さまざまな折り方があります。実現したいアイデアがあれば、その折りは、ぜひ一度ご相談ください。





<http://www.sezax.co.jp>

□本社・工場	〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7	TEL 03 (3758) 2511(代)	FAX 03 (3758) 2754	
		営業専用	FAX 03 (3758) 2544	
□渋谷コア	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル6F	TEL 03 (3400) 9211(代)	FAX 03 (3409) 7315	
		5F	TEL 03 (3400) 9401(代)	FAX 03 (5468) 9253
□マニュアル企画部	〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7	TEL 03 (3758) 2591(代)	FAX 03 (5482) 2777	
□下丸子工場	〒146-0092 大田区下丸子2-20-4	TEL 03 (3758) 2516(代)	FAX 03 (3758) 8850	

株式会社セザックスクリエイティブ

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03 (3409) 4970(代) FAX 03 (3409) 2732

株式会社セザックスインターナショナル

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03 (3409) 0527(代) FAX 03 (3409) 6610



VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの地球にやさしいインキを使用しました。

この小冊子は再生紙を使用しています。